■　社寺に着目した観光まちづくりの未来像　■

―――　インバウンド観光から歴史・文化・暮らしの観光まちづくりの時代へ　―――

〇日時：　2017 年 3 月 28 日（火）午後 1 時 30 分～午後 4 時 30 分（受付 1 時より）
〇場所：　大阪商工会議所 4 階 401 号会議室（大阪市中央区本町橋 2-8）
〇主催：　一般財団法人 大阪地域振興調査会
〇共催　　大阪商工会議所
〇後援：　（予定）大阪府、大阪市他
〇趣旨：　― 社寺を軸とした歴史・文化体験観光の可能性と次世代まちづくり ―

社寺は都市創成の原点であり、観光をはじめ文化芸能、建築工芸などの都市型産業を牽引してきた。大阪では、わが国初の官寺四天王寺（593 年創建）が熊野街道の大観光拠点となり、中世の 15 世紀末には現在の阿倍野区天王寺区にまたがる都市エリアに 7000 軒もの人家が建ち並ぶ大都市が形成された。近世の天下の台所は同時に上町台地に社寺観光のメッカと行楽のリゾートエリアを備えていたのである。

これからの都市づくりに於いて、社寺のもつ歴史的ポテンシャルを再発見し、現代の文化・観光・都市型新産業の創出など、次世代のまちづくりにどう活かしていくか。その可能性について多角的に探るとともに、新しいまちづくりのコンセプトを発見し提言する。

本セミナーは、参加者の自由な議論の場として開催いたします。

〇プログラム（敬称略）

1．開会・来賓挨拶
2．問題提起　　四天王寺に始まる多様な産業と新産業創造の可能性　（事務局）
3．講　演　　「(仮題）大阪の社寺による文化・観光まちづくり」
　　― 文化体験観光とくらしの中での次世代観光の可能性 ―
　　谷 直樹（大阪くらしの今昔館 館長）
4．事例発表　　①　上町台地の都市と産業の萌芽　―都市としての四天王寺史再発見―
　　大澤研一（大阪歴史博物館学芸員）
　　②　全国初の宿坊まちづくり―和空プロジェクト―　（全国寺社観光協会）
　　③　公園が賑わいを創り出す―てんしば―　（近鉄不動産）
5．ラウンドテーブル　上記報告者及び以下のメンバーによる自由討議
　　高田光雄　（京都大学大学院工学研究科建築学専攻教授／当財団 理事）
　　他
　　【コメンテータ】　大阪商工会議所、大阪府、大阪市他
6．閉会

【定員】　40 名程度
【参加費】無料（但し当日資料代　別途）

【申込み】FAX または E-mail で 3 月 23 日（木）までにお申し込みください

ご所属＿＿＿＿＿＿＿＿　お名前（代表者）＿＿＿＿＿＿＿＿
ご住所＿＿＿＿＿＿＿＿　（同行者）＿＿＿＿＿＿＿＿
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ＿＿＿＿＿＿＿＿　（同行者）＿＿＿＿＿＿＿＿

【返送先】一般財団法人大阪地域振興調査会　渡邊　（〒540-0021 大阪市中央区大手通1-2-10）
E-mail：watanabe@daichishin.org　／　Fax：06-6946-9120　／　Tel：06-6944-1173(代)